様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等の展開
主な取組	OCVB等と連携した国内外での誘致活動強化		対応する成果指標	MICE開催による経済効果（直接効果）
施策の方向	・離島も含めた全県的なMICEの振興を図るため、（一財）沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE主催者のニーズを踏まえた誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国内有数の観光リゾート地である沖縄の魅力を活かし、企業ミーティングやインセンティブ旅行の誘致を行う。	県,OCVB	誘致プロモーション、商談会出展、セミナー開催		
		国内外の展示商談会等での商談件数（累計）		
		100件	230件（330件）	300件（630件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	198,303	179,693

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和6年度活動内容

国内外のMICE商談会・見本市に参加した。また、沖縄MICEの状況を定期的に発信した。

令和7年度活動計画

国内外のMICE商談会・見本市に参加する。また、沖縄MICEの状況を定期的に発信する。

活動指標名	国内外の展示商談会等での商談件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		国内外での７つのMICE商談会・見本市に参加した。また、ウェビナーや個別勉強会を実施し、沖縄でのMICE開催誘致に取り組んだ。
	71件	104件（175件）	136件（311件）	300件（630件）	45.3%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

展示商談会を絞り込んで参加したことから、商談件数については目標値を達成できなかったが、各市場において情報収集を行うとともに、過年度に商談を行ったバイヤーを中心に顧客動向と案件獲得に向けた意見交換を行うことで更なる関係性を構築することができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○オンラインでのウェビナーを活用し、商談会に参加できなかった層にもアプローチを目指す。また、大都市以外でも大型案件が実施されるようになっているため、大都市以外の地域への営業活動も強化する。	○商談会へ参加できなかった層に対して、ウェビナーを活用した「沖縄MICEトレーニングプログラム」を実施し、沖縄MICEの最新情報を発信した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄について認知はされているものの、県内のMICE施設やコンテンツについては知られていないことが多いため、認知度向上に向けた取り組みが必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	商談会やメディア等を通して県内のMICE施設やコンテンツの継続的な情報発信を行っていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等の展開
主な取組	MICE開催実態調査		対応する成果指標	MICE開催による経済効果（直接効果）
施策の方向	・離島も含めた全県的なMICEの振興を図るため、（一財）沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE主催者のニーズを踏まえた誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内におけるMICE開催の実態を把握するため、主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象に開催状況調査を実施した。	県,OCVB	実態調査の実施・分析		
		県内主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象とした開催状況調査		
		実施	実施	実施

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/bunkakoryu/sport/1009786/1009793.html

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	198,303	179,693

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和6年度活動内容

従来調査している企業・団体に加えて新設されたホテル等も対象に追加して調査を行った。回答者の負担軽減のため、システムを構築し、運用した。

令和7年度活動計画

回答者の負担軽減のため、システムを構築し、運用する。データ回収時点で疑問点を解消し、更に質の高いローデータを目指す。

活動指標名	県内主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象とした開催状況調査		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		今後のMICE誘致活動及び受入環境整備のための基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。
	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
開催実態調査では、県内約410の会議施設、ホテル、自治体管理施設や旅行会社等を対象にMICEの受入件数調査票を送付した。回答率は70%を目標値として設定していたところ、回答率は82%と目標値を達成することができた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　システムを構築し、回答者の負担軽減、データ集計の効率化等を図る。	○回答者の負担軽減、データ集計の効率化に向け、システムを構築した。次年度から運用を開始する。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	調査結果が数値の把握に留まり、結果の因果関係や背景等の分析・考察まで十分には行えなかった部分があるため、今後のMICE関連取組の改善に繋げづらい。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	データをしっかり収集して分析に活用するとともに、全体的な実績（件数・人数等）といった部分は外的要因・外部資料を用いて分析を行い、MICE関連の取組に資する調査に改めていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○本県の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援
主な取組	MICE誘致・開催・歓迎支援の実施（インセンティブ、コンベンション）		対応する成果指標	MICE開催による経済効果（直接効果）
施策の方向	・OISTをはじめとする県内大学等と連携した学術会議の誘致や本県に比較優位のある情報通信関連、物流、航空関連等の産業分野と連携した展示会の開催など、本県の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
MICE主催者等に対して開催経費の一部助成や空港等での開催歓迎支援を実施するほか、視察ツアーやMICE商談会を開催し、主催者、キーパーソン等を招聘し、沖縄のMICE開催環境をPRする。	県,OCVB	MICE誘致・需要回復支援		
		国内・国際会議件数（累計）		
		35件	56件（91件）	100件（191件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://www.ocvb.or.jp/support/category:9

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	198,303	191,524

令和6年度活動内容

コンベンション主催者等に対して開催経費の一部を支援する。また有力なキーパーソンに対して、個別の視察招聘を通じたプロモーションを行った。

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和7年度活動計画

学術会議等主催者に対して開催経費の一部を支援する。また、泡盛試飲ブースの設置や伝統芸能団の派遣などおもてなし支援を実施する。

予算事業名	MICE受入体制強化等事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	40,057	68,865

令和6年度活動内容

コンベンション主催者等に対して開催経費の一部を支援する。また有力なキーパーソンに対して、個別の視察招聘を通じたプロモーションを行った。

予算事業名	MICE受入体制強化等事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	65,000

令和7年度活動計画

学術会議等主催者に対して開催経費の一部を支援する。また、泡盛試飲ブースの設置や伝統芸能団の派遣などおもてなし支援を実施する。

活動指標名	国内・国際会議件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		コンベンション主催者等への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援など、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施した。
	23件(23件)	32件(55件)	(R5年度)	100件（191件）	32.0%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
R6年度実績値については、集計中のため、R5年度実績値を暫定入力。R6年度は、コンベンション主催者等に対してMICE貸切バス等運行支援やコンベンション開催支援を実施した他、MICE開催時の満足度向上を目的とした、おもてなしメニューの物的支援を行った。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　国内外の学会主催者、PCO等への営業強化を目指し、大学等への定期的な訪問を行う。 ○　バス事業者、関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。	各学会への営業活動（訪問・Eメールでのアプローチ、会場提案・費用算出等の提案書提出）を行った。（アプローチメール数1,053件、提案書提出および営業学会数46案件、在京PCOへの継続営業25社）。 オフシーズンへ誘導するためにオフシーズンでのおもてなし支援を強化した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援条件を満たしていながら、拾いきれなかった催事があった。支援内容等の周知を強化する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	対象条件を変更したことを広く周知することで、これまで拾いきれなかった催事についても支援し、沖縄のMICE開催地としての満足度向上に努める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組の推進
主な取組	MICE振興にかかる普及啓発活動		対応する成果指標	MICE開催による経済効果（直接効果）
施策の方向	・「安全・安心なMICE開催地」を実現する取組の国内外への発信とMICE開催によるビジネス機会や研究促進等の効果を最大化するため、主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
主催者や旅行事業者等が必要とする集約された情報をMICEナビへ掲載のうえ、当該情報を基に県、OCVB、県外・海外事務所が連携して情報発信を行う。	県,OCVB	OCVB、県外・海外事務所と連携した情報発信		
		MICE開催によるレガシー効果の国内外への発信		
		実施	実施	実施

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://mice.okinawastory.jp/

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	192,728	179,693

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和6年度活動内容

沖縄MICE情報Webサイト「おきなわMICEナビ」を運用し、MICE開催のための情報を発信した。

令和7年度活動計画

沖縄MICE情報Webサイト「おきなわMICEナビ」を運用し、MICE開催のための情報を発信する。

活動指標名	MICE開催によるレガシー効果の国内外への発信		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		MICE主催者や旅行社が必要とする情報発信を行い、開催誘致に繋げた。
	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「おきなわMICEナビ」を通して、県内のMICE施設やコンテンツにかかる情報を発信し、MICE開催誘致に繋げた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○沖縄MICE情報Webサイト「おきなわMICEナビ」の多言語での情報を充実させるために、人材育成研修と連動して、PR実践の一環としてMICEナビ活用や外国語版登録を組み込むことを検討する。	○「おきなわMICEナビ」における多言語情報の充実に向けて人材育成研修と連動した取組を検討したが、他に優先すべき研修内容があったため実施できなかった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「おきなわMICEナビ」における多言語情報の充実に向けて対応策を検討中ではあるが、情報の更新がなされていない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	沖縄MICE情報Webサイト「おきなわMICEナビ」の多言語情報の充実に向けて、翻訳ツール等の活用を検討し、サイト情報の充実を図っていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○MICEを中心とした魅力あるまちづくり
主な取組	大型MICE施設整備の推進		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	・マリンタウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICEを中心と した魅力あるまちづくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
既存施設では対応できない大型MICEの誘致を促進するため、多目的ホールや展示場、会議室等を備える施設の整備を行う。	県	基本計画、実施方針の策定及び特定事業の選定、事業者の公募選定等に向けた調整・検討		
		大型MICE施設整備の推進		
		実施	実施	実施

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	42,160	80,722

予算事業名	マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	76,001

令和6年度活動内容

PFI事業を実施する民間事業者の公募を実施した。
その後不調となったことから、不調に係る事業検証を行った。

令和7年度活動計画

再度の入札公告に向けた基本計画の改定を行う。

活動指標名	大型MICE施設整備の推進		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		PFI法に基づく特定事業の選定を行い、入札公告に向け、要求水準書、基本協定書（案）契約書（案）等を公表した。不調となった後は、事業の検証に係る有識者委員会を２回開催し、不調等の要因の検証を行った。
	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

PFI事業の入札公告に必要な手続きを行った。不調となった後は、不調要因の検証、再度の公募に向けた取組を進めた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　エリアマネジメントに向けた検討を進めるため、スマートシティ導入や魅力あるエリア形成のための実施体制に係る先進事例調査を行う。	○　魅力あるエリア形成のためのエリアマネジメントを行っている県外の先進事例調査の実施とともに、本県のマリンタウンMICEエリアでの導入手法について整理した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	大型MICE施設を中心とした賑わいのあるマリンタウンMICEエリアを形成するため、エリアの特性を生かしたまちづくりを行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
③ 他地域等事例を参考とした改善	マリンタウンMICEエリアへ商業地や宿泊施設を呼び込むため、公有地への誘致実績のある国内外の先進自治体等の事例調査を行い、エリアの特性を生かしたまちづくりを推進する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○全県的なMICE受入体制整備の推進
主な取組	沖縄MICEネットワークを活用した連携強化		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	・産学官で構成する沖縄MICEネットワークを活用した連携強化に取り組み、会場やホテル等の施設間の協同による大型MICE案件の受入促進や、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的なMICE受入体制の整備を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
全県的かつ産業横断的なMICE振興を図る観点から設立された沖縄MICEネットワークを運営し、県内事業者の連携強化とスキルアップ、人材確保等を図り、受入体制の整備を推進する。	県,OCVB	MICEネットワーク運営・組織強化		
		沖縄MICEネットワークのネットワーク会員団体数（累計）		
		6団体（136団体）	6団体（142団体）	6団体（148団体）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://www.okinawamicenetwork.jp/

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	198,303	179,693

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和6年度活動内容

引き続き会員の連携強化を図るとともに、那覇市をモデルとしたエリアMICE検討会をとおし、全県的なMICE振興の課題整理に取り組んだ。

令和7年度活動計画

MICEネットワークのメリットを明確に示し、入会促進につなげていく。

活動指標名	沖縄MICEネットワークのネットワーク会員団体数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		総会（1回）、幹事会（3回）、部会（5回）、検討会（3回）、勉強会（2回）を開催。MICEビジネス活動支援（MICE向けサステナビリティ企画支援・視察支援）などを実施。
	-6団体（215団体）	-7団体（208団体）	-10団体（198団体）	６団体（148団体）	-166.7%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄MICEネットワーク会員団体数は前年度比では減っているものの、R6年度は15の事業者が新規入会するなど、累計では目標を上回る会員数となっているため順調とした。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　アンケートからは、対象とする事業のイメージがしづらい、担当者に情報が届いていない等の意見もあるため、告知物や告知方法の工夫、説明会の開催を検討する。	総会の後に、交流会を実施した。 交流会では新規会員の事業紹介タイムを設け、会員への周知とともに交流チャンスの啓発を実施した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	会員数が減少しているため、沖縄MICEネットワークのメリットを明確に示し、入会促進につなげていく必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	沖縄MICEネットワークWEBサイト内に、積極的に企業情報を登録いただき充実したWEBページになるよう登録・更新の呼びかけを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○全県的なMICE受入体制整備の推進
主な取組	MICE施設の管理・運営		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	・産学官で構成する沖縄MICEネットワークを活用した連携強化に取り組み、会場やホテル等の施設間の協同による大型MICE案件の受入促進や、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的なMICE受入体制の整備を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館の安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。	県,OCVB	施設管理・運営		
		沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営		
		実施	実施	実施

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	47,345	29,950

令和6年度活動内容

沖縄コンベンションセンターの安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行った。

予算事業名	沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	15,698

令和7年度活動計画

沖縄コンベンションセンターの安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。

予算事業名	万国津梁館保全修繕事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	47,345	56,110

令和6年度活動内容

万国津梁館の安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行った。

予算事業名	万国津梁館保全修繕事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	57,810

令和7年度活動計画

万国津梁館の安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行う。

活動指標名	沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館の安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行った。
	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
指定管理者制度と併せて、適切に維持管理・運営を実施し、当該施設における各種催事を開催することができた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　指定管理者と協力しながら備品の更新計画を立て、備品購入費の予算要求につなげる。 ○　通信環境の向上を図る工事を行う。 ○施設利用制限を伴う更新修繕における工程管理の徹底や不具合の早期発見。	○　指定管理者との連絡会議を行い備品更新計画を作成し、備品の更新に努めた。 ○　ネットワーク改修の発注により、通信環境の向上に努めた。 ○　工事にあたっては工程管理を徹底し、休館を最小限にとどめた。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	施設の経年劣化に伴い必要な修繕が増加し、対応に苦慮したため、発注人員等の検討が必要である。
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	工事発注にあたって催事開催との早期調整ができなかったため、指定管理者との連携や長期的な工事計画等の検討が必要である。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	早期の工事発注に努め、人員増に係る検討を行う。
② 連携の強化・改善	指定管理者との連携を強化し、速やかな工事発注に努めたい。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	③MICEを活用した関連産業の振興
			施策の小項目名	○高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等の促進
主な取組	MICE開催にむけた沖縄MICEブランドの構築・県内MICE関連事業者へのSDGｓやDXなどの取組の推進		対応する成果指標	MICE開催による経済波及効果（間接効果）
施策の方向	・国内外の競合地との差別化を図るため、沖縄MICEブランドの構築や安全・安心なMICE開催に向けて取り組むとともに、県内MICE関連事業者へSDGsやDXなど新たな取組を浸透させ、高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国内外の競合地との差別化を図るため、沖縄MICEブランドの構築等に向けて取り組むとともに、県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させ、高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等を促進する。	県,OCVB	沖縄MICEブランドの普及啓発活動、SDGsなどの新たな社会的取組の推進		
		沖縄MICEブランドエッセンスを加味したMICE人材育成研修の実施回数（累計）		
		6回	6回（12回）	6回（18回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://www.ocvb.or.jp/support/category:9

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	MICE受入体制強化等事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	40,057	68,865

令和6年度活動内容

MICE関連団体等を対象に人材育成事業を行う。課題を抱えるMICE関連事業者に対して専門アドバイザーを派遣した。

予算事業名	MICE受入体制強化等事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	65,000

令和7年度活動計画

MICE関連団体等を対象に人材育成事業を行う。課題を抱えるMICE関連事業者に対して専門アドバイザーを派遣する。

活動指標名	沖縄MICEブランドエッセンスを加味したMICE人材育成研修の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させるため、オンラインセミナー６回、集合型研修２回の研修を実施した。また、専門アドバイザー派遣の申請があった5事業者に派遣を行った。
	8回	8回（16回）	8回（24回）	６回（18回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
開催した研修８回のうち、参加者人数は延べ243名となった。受講後のアンケート結果では、参加者の98%がスキルアップ・能力向上の実感を持ったとの回答を得た。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　MICE人材育成事業に関して、年間を通じて一定量の情報が継続して発信されることが重要と考えられるため、各事業と連携させて効率的な情報発信を行う。	人材育成にかかる情報発信として県内2紙（沖縄タイムス・琉球新報）を活用した情報発信およびオンライン広告の発信を行った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	研修内容が自身に合っていないと感じた参加者がいるためか、2回目以降の欠席が多くみられた。研修内容の充実化に向けた方策の検討が必要。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	集合研修において受講者間でワークショップなどを通じて実践的に学び、受講者同士の知見を共有することにより、「座学」だけでは得られない、受講者相互に理解度・習熟度を深める機会を提供する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	③MICEを活用した関連産業の振興
			施策の小項目名	○MICE関連ビジネス展開の促進
主な取組	企業へのMICEビジネス機会の創出のための支援		対応する成果指標	MICE開催による経済波及効果（間接効果）
施策の方向	・情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売、サービスなど様々な事業者によるMICE関連ビジネスへの展開を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
MICE主催者等への誘致活動と産業界のMICE関連ビジネスへの取組を促進する。	県,OCVB	MICE商談会の開催		
		独自開催MICE商談会での商談件数（累計）		
		150件	200件（350件）	250件（600件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://mice.okinawastory.jp/

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	192,728	179,693

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和6年度活動内容

沖縄MICEの最新情報等を提供するため、旅行社等を対象とした沖縄MICEセミナー＆商談会を開催した。

令和7年度活動計画

沖縄MICEの最新情報等を提供するため、旅行社等を対象とした沖縄MICEセミナー＆商談会を開催する。

活動指標名	独自開催MICE商談会での商談件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		大阪、名古屋、東京、福岡において沖縄MICEセミナー＆商談会を開催し、151社324名のバイヤーが参加した。
	362件（362件）	648件（1010件）	931件（1941件）	250件（600件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

独自開催MICE商談会での商談件数について、目標250件に対し、実績931件となった。沖縄MICEコンテンツの最新情報を提供するとともに、県内出展事業者の効果的なビジネスマッチングに努めた。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○商談会のプログラムの変更を行い、当日参加者が十分に商談できるように配慮したスケジュールにする。また、商談会に参加したセラーに対し、セミナー商談会後の事後確認を行い、商談会の効果を検証する。	○商談会後において交流会を実施したことにより、バイヤーの滞在時間を確保することができ、バイヤー・セラー間の商談・交流がより活発に行われた。また、商談会後において、セラー向けにヒアリングを実施し商談案件の成約状況等の確認を行い、商談会の効果を検証した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	交流会を実施したものの、面識のないバイヤーに対して積極的に交流を図れないセラーが一定数いたため、交流会の内容や仕組みを検討する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	交流会の機会の効果的な活用につながるよう、アイスブレイクの導入など交流会の内容や仕組みを検討する。